

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
専門学校北海道自動車整備大学校	平成14年2月6日	吉田 孝弘	〒007-0894 札幌市東区中沼西4条2丁目1番15号 (電話) 011-792-3922			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人吉田学園	昭和53年10月31日	吉田 松雄	〒060-0063 札幌市中央区南3条西1丁目15番地 (電話) 011-272-6070			
目 的	本学科は、校訓「信頼されるサービスエンジニアを目指し、己を磨き、腕を鍛えよ」に基づき、自動車整備士として最先端技術に対応できる専門知識及び技能の取得に加え、コミュニケーション能力や接客スキルを身につけた職業人の育成を図ることを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	専門課程	一級自動車整備学科	4年(昼)	3,640時間	—	平成18年文部科学省告示第88号
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	900時間	時間	時間	2,740時間	時間	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
100人	77人	10人	2人	12人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について ・成績評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし単位修得を認める。ただし3年次への進級は、二級ガソリン及び、ジーゼル自動車整備士両資格を取得した場合のみ認める。 ・評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。	
長期休み	■学年始め：なし ■夏 季：7月25日～8月19日 ■冬 季：12月19日～1月13日 ■学 年 末：3月7日～3月31日			卒業・進級条件	・教育課程の定めるところにより、教育指導計画に従って履修しその成果が満足と認めた場合。 ・加えて卒業は修業年限以上在学した場合。	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 ・クラス担任制をとり早期段階で注意喚起・面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。			課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動 (有・無)	

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 自動車業界 札幌トヨペット株式会社 株式会社スズキ自販北海道 北海道日産自動車株式会社 北海道マツダ販売株式会社 札幌トヨタ自動車株式会社</p> <p>■就職率100% ■卒業者に占める就職者の割合 95.2% ■その他（任意）</p> <p>（平成27年度卒業者に関する平成28年5月時点の情報）</p>	主な資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> ・一級小型自動車整備士 ・二級ガソリン自動車整備士 ・二級ジーゼル自動車整備士 ・二級二輪自動車整備士 ・二級自動車シャシ整備士
中途退学の現状	<p>■中途退学者3名 ■中退率3.37% 平成27年4月1日在学者89名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者86名（平成28年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更・病気</p> <p>■中退防止のための取組 （学業不振者） 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 （学校生活不適應者） クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。</p>		
ホームページ	URL: http://www.yoshida-seibi.jp/		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

工業分野教育課程編成委員会は、工業分野における推薦学科等において、実践的かつ専門的な職業教育を実施するため、企業等との連携を通じ必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成（授業科目開設・授業内容・実施方法の改善・工夫等）等に活かすことを基本方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年 5 月 1 日現在

名 前	所 属
三野 雅章	一般社団法人 札幌地方自動車整備振興会 相談教育部 部長
大塚 知明	札幌トヨペット株式会社 人事・総務部 人材開発グループ
高橋 克己	株式会社スズキ自販北海道 常務執行役員 サービス本部長
吉田 孝弘	学校法人吉田学園 専門学校北海道自動車整備大学校 校長
高貝 良浩	学校法人吉田学園 専門学校北海道自動車整備大学校 学科長
澤口 保志	学校法人吉田学園 専門学校北海道自動車整備大学校 事務部部长
今野 和彦	学校法人吉田学園 専門学校北海道自動車整備大学校 副学科長
谷口 卓世	学校法人吉田学園 専門学校北海道自動車整備大学校 事務部副部长
渡辺 博元	学校法人吉田学園 専門学校北海道自動車整備大学校 主任
前田 一也	学校法人吉田学園 専門学校北海道自動車整備大学校 主任

(開催日時)

第 1 回 平成 28 年 8 月下旬予定 16:00~17:00

第 2 回 平成 29 年 2 月中旬予定 16:00~17:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実習承諾書・協定書・事業委託契約書等による連携を基本とし、実践的かつ即戦力となり得る技術習得を目指すために連携を行うもの。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
インターンシップ実習	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ実習では、各種の自動車整備技術、故障診断技術を企業で活用させることを目的とする。 ・併せて、サービスアドバイザーとしての役割を担う為の体験と企業での人間関係を学ぶ。 	札幌トヨタ自動車株式会社 札幌トヨペット株式会社 トヨタカローラ札幌株式会社、 札幌日産自動車株式会社 北海道日産自動車株式会社、
エンジン実習Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の構造及び機能を理解して、故障診断の進め方を学ぶ ・故障が発生した時の車両の様々な状態について確認する。 	札幌トヨペット株式会社
電気装置実習Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・電子制御式点火装置のシステム概要と作動を確認し、外部診断機の正常時のデータの見方と異常時のデータの違いを理解する。 ・電子制御式点火装置 ・オシロスコープで点火波形を確認 ・外部診断機で点火信号の確認 ・エンジンのオールデータの見方 	株式会社スズキ自販北海道

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員は、次に掲げる各研修を通し、現在就いている業務又は将来就くことが予想される業務の遂行に必要な知識・技術・技能等を修得するとともに、その他その遂行に必要な能力・資質等の向上を図ることを基本方針とする。

- ・職員研修会
- ・専門学校教育研修会
- ・新入職員研修
- ・階層別研修
- ・外部研修等（学会等を含む）

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 5 月 1 日現在

名 前	所 属
三野 雅章	一般社団法人 札幌地方自動車整備振興会 相談教育部 部長
大塚 知明	札幌トヨペット株式会社 人事・総務部 人材開発グループ
高橋 克己	株式会社スズキ自販北海道 常務執行役員 サービス本部長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.yoshida-seibi.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.yoshida-seibi.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 一級自動車整備学科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			自動車工学Ⅰ	自動車の構造や機能、基本的な原理・法則を学ぶ	1	60	4	○		
○			自動車工学Ⅱ	高度な自動車の構造や機能、技術知識を学ぶ	2	60	4	○		
○			自動車工学Ⅲ	自動車工学問題への応用力及び最近改正された法令、主要通達を学ぶ	3	60	4	○		
○			自動車数学	職場における事務的な計算（検査）について学ぶ	1	60	4	○		
○			エンジン構造Ⅰ	エンジンを構成する基本構造、原理、機能について学ぶ	1	30	2	○		
○			エンジン整備Ⅰ	エンジンを構成する基本構造、機能、整備について学ぶ	1	30	2	○		
○			エンジン構造Ⅱ	基礎知識からより実務に即した故障探求を含め特殊機構等を学ぶ	2	30	2	○		
○			エンジン整備Ⅱ	より実務に即した故障探求を含め特殊機構等の整備について学ぶ	2	30	2	○		
○			シャシ構造Ⅰ	動力伝達装置、ステアリング装置等の構造、原理、機能について学ぶ	1	30	2	○		
○			シャシ整備Ⅰ	動力伝達装置、ステアリング装置等の構造、機能、整備について学ぶ	1	30	2	○		
○			シャシ構造Ⅱ	自動車の安全性を重視し、構造、機能について学ぶ	2	30	2	○		
○			シャシ整備Ⅱ	自動車の安全性を重視し、構造、機能及び電子技術を学ぶ	2	30	2	○		
○			電装品構造Ⅰ	電気・磁気・半導体の基礎及びバッテリーの概要、構造について学ぶ	1	30	2	○		
○			電装品整備Ⅰ	始動・点火・充電装置等の構造、作動について学ぶ、	1	30	2	○		
○			電装品構造Ⅱ	自動車の電装品、電子制御装置等のより高度な技術知識を学ぶ	2	30	2	○		
○			電装品整備Ⅱ	自動車の電装品、電子制御装置等のより高度な整備技術を学ぶ	2	30	2	○		
○			法令・検査	自動車整備関係法令及び道路運送車両法の保安基準津について学ぶ	2	60	4	○		

○		エンジン制御整備診断技術	エンジンを取りまくセンサ等の機能、信号形態、異常検知等の知識を学ぶ	3	60	4	○		
○		シャシ整備診断技術	コントロールユニットの機能、信号形態、異常検知等の知識を学ぶ	3	60	4	○		
○		自動車新技術	新技術の対応と故障診断についてエンジンとシャシ関係に分けて学ぶ	3	60	4	○		
○		電気工学	自動車電子化に対応するための電気、電子回路を学ぶ	3	20	1	○		
○		総合診断	自動車ユーザーの保守管理を支援するための応酬話を学ぶ	3	20	1	○		
○		環境保全	環境保全の必要性と意義、資源の有効利用、廃棄物処理の対応等を学ぶ	3	20	1	○		
○		工作実習	日常の健康管理、環境整備、基本整備作業を学ぶ	1	75	2			○
○		エンジン実習Ⅰ	ガソリンエンジンの基礎について分解、点検、整備について学ぶ	1	150	4			○
○		エンジン実習Ⅱ	特殊エンジン等の構造、機能、分解、測定、整備について学ぶ	2	120	3			○
○		エンジン実習Ⅲ	OBDテスターによる故障診断とその活用法を学ぶ	3	140	3			○
○		電気装置実習Ⅰ	始動装置（スタータ）の構造、機能、性能について学ぶ	1	75	2			○
○		電気装置実習Ⅲ	実験用電気・電子回路及び、ベンチ・エンジン等での測定、観測方法を学ぶ	2	120	3			○
○		シャシ実習Ⅰ シャシ実習Ⅱ	動力伝達装置等の分解、点検、測定、整備について学ぶ	1	150	4			○
○		シャシ実習Ⅲ	基礎学習を基に動力伝達装置等及び、CVTについての総合学習を行う	2	120	3			○
○		シャシ実習Ⅳ	4WD車の各装置の分解、点検、測定、調整、整備を学ぶ	3	140	3			○
○		シャシ電装実習 電気装置実習Ⅱ	点火装置、灯火装置、電気装置の分解、点検、測定、整備について学ぶ	1	150	4			○
○		自動車検査実習	定期点検整備の技術を習得し、各種検査機器で点検、測定作業を学ぶ	2	120	3			○
○		車体工作実習	車体修理の基礎技術を学ぶ(板金作業、溶接・板金作業)	2	120	3			○
○		二輪自動車実習	二輪自動車の構造、整備技術について学ぶ	2	40	1			○
○		エンジン電子計測実習	多様化する自動車エンジン電子制御装置について測定技術を学ぶ	3	50	1			○
○		振動・騒音実習	振動・騒音分析器を活用し、高度な診断技術を学ぶ	3	50	1			○
○		整備計画実習Ⅰ	技術コンサルタントとしての必要な基礎知識、整備保証業務等を学ぶ	3	90	2			○

○		応用整備実習Ⅰ	分解点検整備を通して基本作業を徹底し、高度整備技術を学ぶ	3	130	3			○
○		インターンシップ実習	自動車整備技術、故障診断技術を企業で体験し、企業での人間関係をも学ぶ	4	200	5			○
○		整備計画実習Ⅱ	整備の専門知識を提供する技術コンサルタントとしての技術を学ぶ	4	70	1			○
○		応用整備実習Ⅱ	エンジン・シャシに関して応用的な故障診断技術を学ぶ	4	140	3			○
○		応用整備実習Ⅲ	ジーゼルエンジンの直接噴射式とコモンレール式の構造、点検、整備を学ぶ	4	140	3			○
○		総合整備実習Ⅰ	車両全体としての振動・騒音現象の発生メカニズム等を学ぶ	4	140	3			○
○		総合整備実習Ⅱ	車検制度の法的背景を学習し、予防整備も含め整備技術を学ぶ	4	210	5			○
合計				46 科目		3,640 時間			

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
専門学校北海道自動車整備大学校	平成14年2月6日	吉田 孝弘	〒007-0892 札幌市東区中沼西2条1丁目15番15号 (電話) 011-792-3922			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人吉田学園	昭和53年10月31日	吉田 松雄	〒060-0063 札幌市中央区南3条西1丁目15番地 (電話) 011-272-6070			
目 的	本学科は、校訓「信頼されるサービスエンジニアを目指し、己を磨き、腕を鍛えよ」に基づき、自動車整備士として最先端技術に対応できる専門知識及び技能の取得に加え、コミュニケーション能力や接客スキルを身につけた職業人の育成を図ることを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	専門課程	二級自動車整備学科	2年(昼)	1,840時間	平成16年文部科学省告示第17号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	600時間	時間	単位時間	1,240時間	時間	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
150人	100人	10人	2人	12人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について ・成績評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし単位修得を認める。 ・評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。	
長期休み	■学年始め：なし ■夏季：7月25日～8月19日 ■冬季：12月19日～1月13日 ■学年末：3月7日～3月31日			卒業・進級条件	・教育課程の定めるところにより、教育指導計画に従って履修しその成果が満足と認められた場合。 ・加えて卒業は修業年限以上在学した場合。	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 ・クラス担任制をとり早期段階で注意喚起・面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。			課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動 (有・無)	

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 自動車業界 札幌トヨタ自動車株式会社 北海道スバル株式会社 株式会社ホンダカーズ札幌中央 北海道中央バス株式会社 ネットトヨタ札幌株式会社 トヨタカローラ札幌株式会社 札幌日産自動車株式会社 北海道いすゞ自動車株式会社</p> <p>■就職率 100% ■卒業者に占める就職者の割合 92.3% ■その他（任意） (平成27年度卒業者に関する平成28年5月時点の情報)</p>	主な資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> ・二級ガソリン自動車整備士 ・二級ジーゼル自動車整備士 ・二級二輪自動車整備士 ・二級自動車シヤシ整備士 <p style="text-align: right;">他</p>
中途退学の現状	<p>■中途退学者6名 ■中退率6.45% 平成27年4月1日在学者93名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者87名（平成28年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更・病気・学校生活・学業不適應</p> <p>■中退防止のための取組 (学業不振者) 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 (学校生活不適應者) クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。</p>		
ホームページ	URL: http://www.yoshida-seibi.jp/		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

工業分野教育課程編成委員会は、工業分野における推薦学科等において、実践的かつ専門的な職業教育を実施するため、企業等との連携を通じ必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成（授業科目開設・授業内容・実施方法の改善・工夫等）に活かすことを基本方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年 5 月 1 日現在

名 前	所 属
三野 雅章	一般社団法人 札幌地方自動車整備振興会 相談教育部 部長
大塚 知明	札幌トヨペット株式会社 人事・総務部 人材開発グループ
高橋 克己	株式会社スズキ自販北海道 常務執行役員 サービス本部長
吉田 孝弘	学校法人吉田学園 専門学校北海道自動車整備大学校 校長
高貝 良浩	学校法人吉田学園 専門学校北海道自動車整備大学校 学科長
澤口 保志	学校法人吉田学園 専門学校北海道自動車整備大学校 事務部部长
今野 和彦	学校法人吉田学園 専門学校北海道自動車整備大学校 副学科長
谷口 卓世	学校法人吉田学園 専門学校北海道自動車整備大学校 事務部副部长
渡辺 博元	学校法人吉田学園 専門学校北海道自動車整備大学校 主任
前田 一也	学校法人吉田学園 専門学校北海道自動車整備大学校 主任

(開催日時)

第 1 回 平成 28 年 8 月下旬予定 16:00～17:00

第 2 回 平成 29 年 2 月中旬予定 16:00～17:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

事業委託契約書等による連携を基本とし、実践的かつ即戦力となり得る技術習得を目指すために連携を行うもの。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
電気装置実習Ⅱ	<ul style="list-style-type: none">電子制御式点火装置のシステム概要と作動を確認し、外部診断機の正常時のデータの見方と異常時のデータの違いを理解する。電子制御式点火装置オシロスコープで点火波形を確認外部診断機で点火信号の確認エンジンのオールデータの見方	株式会社スズキ自販北海道

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員は、次に掲げる各研修を通し、現在就いている業務又は将来就くことが予想される業務の遂行に必要な知識・技術・技能等を修得するとともに、その他その遂行に必要な能力・資質等の向上を図ることを基本方針とする。

- ・職員研修会
- ・専門学校教育研修会
- ・新入職員研修
- ・階層別研修
- ・外部研修等（学会等を含む）

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 5 月 1 日現在

名 前	所 属
三野 雅章	一般社団法人 札幌地方自動車整備振興会 相談教育部 部長
大塚 知明	札幌トヨペット株式会社 人事・総務部 人材開発グループ
高橋 克己	株式会社スズキ自販北海道 常務執行役員 サービス本部長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.yoshida-seibi.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.yoshida-seibi.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備学科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			自動車工学Ⅰ	自動車の構造や機能、基本的な原理・法則を学ぶ	1	60	4	○		
○			自動車工学Ⅱ	高度な自動車の構造や機能、技術知識を学ぶ	2	60	4	○		
○			自動車数学	職場における事務的な計算（検査）について学ぶ	1	60	4	○		
○			エンジン構造Ⅰ	エンジンを構成する基本構造、原理、機能について学ぶ	1	30	2	○		
○			エンジン整備Ⅰ	エンジンを構成する基本構造、機能、整備について学ぶ	1	30	2	○		
○			エンジン構造Ⅱ	基礎知識からより実務に即した故障探求を含め特殊機構等を学ぶ	2	30	2	○		
○			エンジン整備Ⅱ	より実務に即した故障探求を含め特殊機構等の整備について学ぶ	2	30	2	○		
○			シャシ構造Ⅰ	動力伝達装置、ステアリング装置等の構造、原理、機能について学ぶ	1	30	2	○		
○			シャシ整備Ⅰ	動力伝達装置、ステアリング装置等の構造、機能、整備について学ぶ	1	30	2	○		
○			シャシ構造Ⅱ	自動車の安全性を重視し、構造、機能について学ぶ	2	30	2	○		
○			シャシ整備Ⅱ	自動車の安全性を重視し、構造、機能及び電子技術を学ぶ	2	30	2	○		
○			電装品構造Ⅰ	電気・磁気・半導体の基礎及びバッテリーの概要、構造について学ぶ	1	30	2	○		
○			電装品整備Ⅰ	始動・点火・充電装置等の構造、作動について学ぶ、	1	30	2	○		
○			電装品構造Ⅱ	自動車の電装品、電子制御装置等のより高度な技術知識を学ぶ	2	30	2	○		
○			電装品整備Ⅱ	自動車の電装品、電子制御装置等のより高度な整備技術を学ぶ	2	30	2	○		
○			法令・検査	自動車整備関係法令及び道路運送車両法の保安基準について学ぶ	2	60	4	○		
○			工作実習	日常の健康管理、環境整備、基本整備作業を学ぶ	1	75	2			○

○		エンジン実習Ⅰ	ガソリンエンジンの基礎について分解、点検、整備について学ぶ	1	150	4			○
○		エンジン実習Ⅱ	特殊エンジン等の構造、機能、分解、測定、整備について学ぶ	2	120	3			○
○		電気装置実習Ⅰ	始動装置（スタータ）の構造、機能、性能について学ぶ	1	75	2			○
○		電気装置実習Ⅲ	実験用電気・電子回路及び、ベンチ・エンジン等での測定、観測方法を学ぶ	2	120	3			○
○		シャシ実習Ⅰ シャシ実習Ⅱ	動力伝達装置等の分解、点検、測定、整備について学ぶ	1	150	4			○
○		シャシ実習Ⅲ	基礎学習を基に動力伝達装置等及び、CVTについての総合学習を行う	2	120	3			○
○		シャシ電装実習 電気装置実習Ⅱ	点火装置、灯火装置、電気装置の分解、点検、測定、整備について学ぶ	1	150	4			○
○		自動車検査実習	定期点検整備の技術を習得し、各種検査機器で点検、測定作業を学ぶ	2	120	3			○
○		車体工作実習	車体修理の基礎技術を学ぶ(板金作業、溶接・板金作業)	2	120	3			○
○		二輪自動車実習	二輪自動車の構造、整備技術について学ぶ	2	40	1			○
合計				27 科目		1,840 時間			